

いわき医療ふるさと便

いわきの医療の
「いま」をお届けします



いわき市 保健福祉部
地域医療介護室
地域医療課
平成 29 年 3 月号

日に日に、日差しが柔らかくなり、桜の開花が待ち遠しい季節となりました。
皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今回のいわき医療ふるさと便では「休日夜間急病診療所新築」、「北里大学寄附講座開設」、「市内病院の修学資金制度」のお知らせのほか、今回から、病院医師のリレーコラムをお届けします！

休日夜間急病診療所を移転新築しました！

休日夜間急病診療所は、昭和 50 年 1 月の開院以降、市立総合磐城共立病院内で診療を行ってまいりましたが、救急医療体制における役割分担を明確にするため、新たな診療所を整備し、平成 29 年 6 月 1 日より移転することとなりました！

移転先：いわき市内郷高坂町四方木田 191 番地
(市総合保健福祉センター駐車場内)

規模：建築面積 225 m² 敷地面積 797.77 m²



北里大学寄附講座開設

平成 29 年 3 月 23 日に、学校法人北里研究所、いわき市、及びいわき市立総合磐城共立病院の 3 者により

「北里大学寄附講座『小児-小児循環器地域医療学(いわき市)』」の協定締結式が行われ、4 月から、総合磐城共立病院に小児科の医師が派遣されることになりました。

○設置大学：北里大学 ○期間：H29.4.1~H34.3.31

○派遣医師数：初年度・非常勤医 3 名 (H29.9 月より 1 名増の予定)



市内病院の修学資金制度

いわき市内の病院では、医学生を対象とした修学資金制度を実施している病院が 8 病院あります。各医療機関の制度一覧を同封いたしましたのでご覧ください。

詳細の資料が必要な場合は、地域医療課まで御連絡ください。



病院勤務医師リレーコラム



| | |
|---------|----------------|
| 氏名 | 瀬川 将人(せがわ まさと) |
| 年齢 | 33歳 |
| 勤務病院 | いわき市立総合磐城共立病院 |
| 役職 | 医長 |
| 専門科目 | 循環器内科 |
| 出身地 | 福島県双葉郡大熊町 |
| 出身大学 | 和歌山県立医科大学 |
| 休日の過ごし方 | 家庭菜園、寝ること(休息) |

ふるさとの訛なつかし駐車場の人ごみの中にそを聴きにゆく

私が、「いわきで働く理由」を聞かれた時、ふと頭に浮かんだのが、この石川啄木の歌です。

私は、大熊町生まれ、磐城高校出身です。親や祖父母と同世代の患者さんに接し、慣れ親しんだ「いわき弁」を聞くことに安心感を覚えます。東日本大震災の後、親兄弟もいわきに越してきたので、地元であること、地元に貢献したい。ということが、いわきで働く最大の理由かもしれません。

共立病院の魅力は「学べる環境が揃っている」ということです。地域の中核病院として、患者さんが途絶えることはなく、様々な症例に出会えることもそうですが、相談にのってくれる気さくなベテランの先生がいることも大きな魅力です。また、新病院の建設過程に触れ、これから働ける未来の病院に思いを馳せながら仕事ができる事に幸せを感じています。

私が病院で取り組んでいることは、一人一人の患者さんと向き合うことです。医療技術の進歩により、以前は治らないと言われた病気でさえ、治療ができるようになってきました。検査機器の発展も目覚しく、循環器領域では心臓 CT や MRI、核医学検査などでかなりの情報が得られる様になりました。しかし、循環器疾患の診断には患者さんの生活環境等、バックグラウンドを知ることがとても重要です。検査値だけの判断ではなく、「なぜ、こうなったのか」「この病気を繰り返さないためにはどのような生活改善が必要か」を考え、寄り添って診断できるような医師になりたいと思っています。

今後も、本市の医療情報を定期的に発信して参りますので、学校卒業や転勤等により、居住地が変更される方におかれましては、下記まで御連絡下さいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



いわき市 地域医療課

〒970-8686 いわき市平字梅本 21

TEL : 0246-226-7510 FAX : 0246-22-7481

Mail : chiikiiryoy@city.iwaki.fukushima.jp

